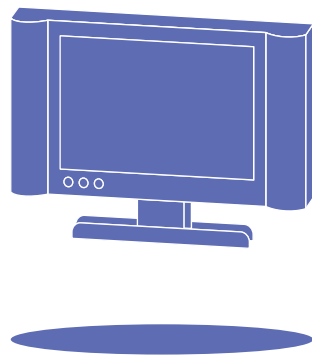


省エネ家電の上手な使い方・選び方

「液晶テレビ」

使い方しだいで、テレビを楽しみながら消費電力量を減らすことができます。



■ テレビを見ないときは消す

つけっぱなしは要注意！

見ていないテレビは、こまめに消しましょう。



節約のポイント

- ① リモコンでこまめにOFFしましょう。
- ② ゲームで使用したときも、終わったらテレビ画面を消しましょう。
- ③ 旅行等で長期間使用しないときは、本体の主電源でOFFにするか電源プラグを抜くことで、微量ながらリモコン信号を受けるための待機時電力を節約することができます。

<主電源をOFFにする時の注意>

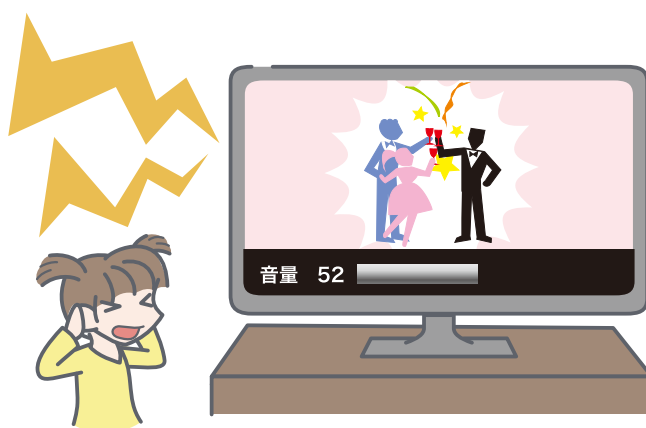
- ・番組表などデジタル放送で送られる情報が自動ダウンロードできなくなる機種があります。
- ・録画機能内蔵テレビの場合、本体で電源を切ると予約録画ができなくなる機種があります。

■ 画面を掃除しよう



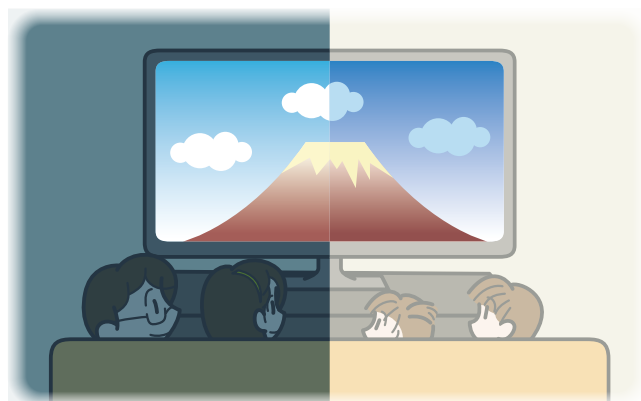
テレビ画面は静電気でホコリを寄せつけやすいので、汚れやすいものです。ホコリがあると暗く見えます。1週間に1度は乾いた柔らかい布（表面に傷が付かないよう配慮された専用クロスなど）でふきましょう。明るさを調節する前に、画面の掃除をしましょう。

■ 音量は不必要に大きくしない



必要以上に画面を明るくしたり、音を大きくしたりするのは、電力の無駄使いです。

■ 画面は明るすぎないように



節約のポイント

テレビ画面は、部屋の明るさに合わせた適切な明るさで視聴しましょう。明るさセンサーがある機種では、明るさセンサーをONにすると、部屋の明るさに合わせて、画面が適切な明るさとなるよう自動的に設定されます。

液晶テレビの場合

年間で電気 27.10kWh の省エネ 約 730円 の節約

原油換算 6.83ℓ CO₂削減量 13.55kg

テレビ (32V型) の画面の輝度を最適 (最大→中間) にした場合

上手な使い方のデータは一般財団法人 省エネルギーセンターの実測値を使用しています。

■ 省エネモードを活用しましょう

① 明るさセンサー

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調整する機能です。画面が必要以上に明るくなることを防いで、消費電力量を抑えます。

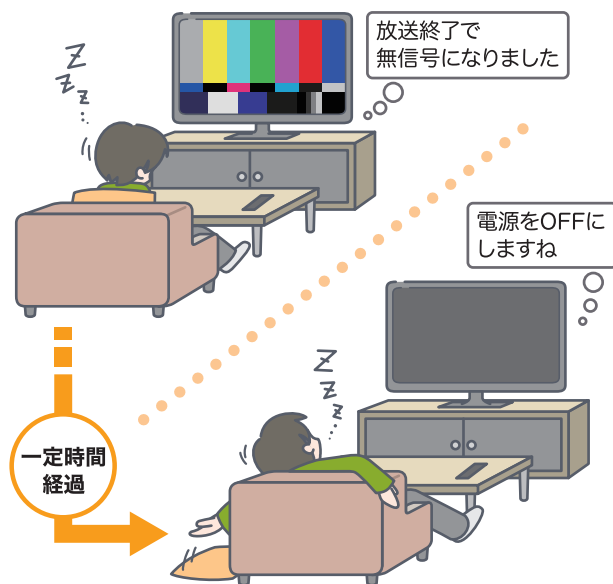
② 無信号自動 OFF

一定時間信号がないと、OFFになる機能です。

③ 無操作自動 OFF

一定時間操作をしないと、OFFになる機能です。

※節電機能の名称や機能はメーカーによって異なります。
設定の仕方も様々なので、取扱説明書を確認しましょう。



■ ライフスタイルに合わせて製品を選ぶ3つのポイント

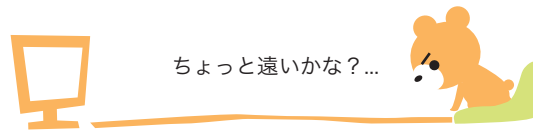
Point 1



視聴距離は画面の高さの3~4倍程度...

● お部屋と製品のサイズは合っていますか？

製品を選ぶときは、部屋の大きさや使い方に合わせてサイズを選びましょう。



Point 2



番組をたくさん録画したい...

● 今までと同じ機能で選んでいませんか？

最近のテレビの機能は多様化しています。上手な使い方ができていないようならば、機能が合っていないのかもしれません。



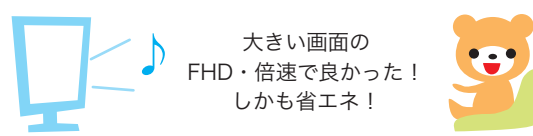
Point 3



FHDはフルHD...倍速って？

● 満足度も大事なポイント

画素数、動画表示速度、機能、年間消費電力量の4つは確認しておく、製品の特徴をある程度把握できます。



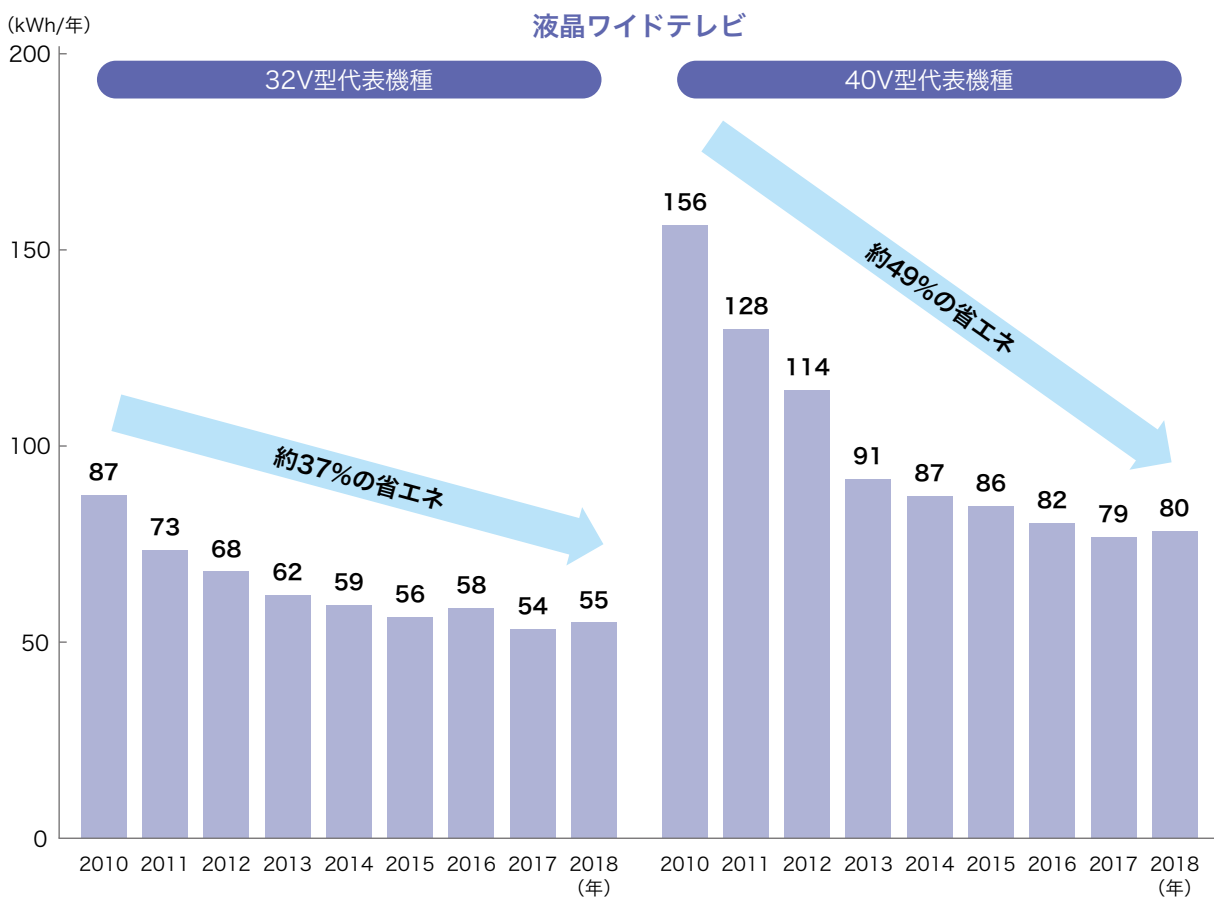
■ 液晶テレビの選び方

部屋の広さやテレビの視聴のしかたによって、画面の大きさや機能を選びましょう。

<p>画面の大きさ (テレビサイズ)</p>	<p>画面が大きいと見やすく迫力がありますが、部屋の大きさに合わせて選ぶようにしましょう。</p>
<p>機能</p>	<p>ダブルデジタルチューナーのもの、HDD・DVD・BD内蔵など録画機能を有するものがあります。また、明るさセンサー、オフタイマー、無信号自動OFF、無操作自動OFF等の省電力機能を搭載した機種も多くあります。</p>
<p>待機時消費電力</p>	<p>待機時消費電力は機能維持や指示待ち状態の電力を表し、この値が少ない製品を選ぶと、待機時消費電力を削減することができます。近年、待機時消費電力0.2W以下という省エネ性能が優れた製品も出てきています。</p>

■ 年間消費電力量の推移 (kWh/年)

過去8年間のテレビ消費電力量(32V型、40V型)の比較。



どのサイズも省エネ性能が向上！ 買い替えによる省エネが期待できます。

※2010年～2017年：省エネ性能カタログ夏版・冬版の単純平均値、2018年：省エネ性能カタログPDF版の平均値
出所：省エネ性能カタログ

■ 統一省エネルギーラベルと多段階評価



液晶テレビ
目標年度2012年度

省エネ基準達成率	多段階評価
246%以上	★★★★★
198%以上246%未満	★★★★
149%以上198%未満	★★★
100%以上149%未満	★★
100%未満	★

省エネ基準達成率が高いほど省エネに優れ
年間消費電力量も少なくなります。

星の数の多い製品を選ぶのが省エネ！

年間消費電力量

省エネ法に基づいて家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、目安となる年間電気料金が安くなります。一般的に、テレビサイズが大きくなる、あるいは複数の機能を備えるほど、年間消費電力量は大きくなります。

省エネ基準達成率

画面の大きさや機能(画素数、動画表示速度、録画機能等)が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性が優れ、年間電気料金も安くなります。テレビサイズや付加機能等により分けられた区分ごとに、それぞれ目標基準値算定式が設定されています。

例えば、32V型FHD(フルHD)、動画表示速度「倍速」で年間消費電力量が90kWh/年の製品が付加機能1つであった場合は、★2つになります。

算定式: $(6.6 \times 32 - 99) \div 90 = 124\%$

同じ条件で付加機能が3つの場合は★3つです。

算定式: $(6.6 \times 32 - 75) \div 90 = 151\%$

多機能製品は★の数を目安に選ぶとよいでしょう。

■ Q&A



年間消費電力量が同じなのに、省エネ基準達成率(★の数)が異なる製品があるのは、なぜですか？

▶テレビの場合、省エネ基準達成率を算出するためのトップランナー制度の目標基準値はテレビの画面サイズ、画素数、動画表示速度、付加機能などにより分けられた区分ごとに定められており、高機能な機器ほど目標基準値が大きくなります。このため、右図のように、年間消費電力量が同じでも、画素数や付加機能によって省エネ基準達成率が異なることがわかります。

※テレビのトップランナー基準は、付加機能などにより、ブラウン管テレビで20区分(目標年度2011年度までのもの)、薄型テレビ(液晶テレビ・プラズマテレビ)で64区分(目標年度2012年度以降の各年度のもの)に分けられ、それぞれの区分ごとに目標基準値や目標基準値算定式が定められています。

● 製品A、B、C(液晶テレビ24V型 年間消費電力量60kWh/年)の場合

製品A	24V型(★)	製品B	24V型(★★)	製品C	24V型(★★★)
画素数: FHD未満 (水平方向1,920画素未満、または垂直方向1,080画素未満) 動画表示速度: ノーマル 付加機能: なし		画素数: FHD(2K) (水平方向1,920画素かつ垂直方向1,080画素) 動画表示速度: ノーマル 付加機能: なし		画素数: FHD未満 (水平方向1,920画素未満、または垂直方向1,080画素未満) 動画表示速度: ノーマル 付加機能: 3つ(HDD、ダブルデジタルチューナー、ブルーレイディスクレコーダー)	
目標基準値 54 kWh/年 [製品A]消費電力量 60 kWh/年 省エネ基準達成率 90%	目標基準値 69 kWh/年 [製品B]消費電力量 60 kWh/年 省エネ基準達成率 115%	目標基準値 90 kWh/年 [製品C]消費電力量 60 kWh/年 省エネ基準達成率 150%			

年間消費電力量は同じなのに、製品Cが最も省エネ基準達成率が高い。
▶高機能な機器ほど、目標基準値が大きいため。

製品 A、B、C が該当する区分が異なり、目標基準値算定式も異なっています。
製品 A:E=2.0S+6 製品 B:E=2.0S+21 製品 C:E=2.0S+42
<E: 目標基準値 (kWh/年)、S: テレビサイズ>

■ 掲載製品

交流の回路を使用する液晶テレビが掲載対象です。受信機型が10V型以下の製品、パソコン用ディスプレイでテレビ機能を有するもの、ワイヤレス方式のもの、受注生産品、特殊仕様品等は対象外です。

■ 絞り込み検索

テレビサイズ(V型)によって絞り込み検索ができます。

10V型以上20V型未満	20V型以上30V型未満	30V型以上40V型未満
40V型以上50V型未満	50V型以上60V型未満	60V型以上

■ 各種表示

● 年間消費電力量(kWh/年)

一般家庭での1日あたりの平均視聴時間4.5時間、平均待機時間(EPG取得時間を含む)19.5時間を基準に算出した数値を整数で表示しています。

● 液晶テレビの動画表示速度

1秒間に60コマ以上120コマ未満の静止画を表示するノーマルと、1秒間に120コマ以上240コマ未満の静止画を表示する倍速、1秒間に240コマ以上の静止画を表示する4倍速があります。

● 画素数

画素数は、「水平方向の画素数×垂直方向の画素数」で表記され、一般的に画素数が多いほど、きめ細かくより自然に近い画質が得られます。FHD未満、FHD(2K) (水平方向1,920画素かつ垂直方向1,080画素)、4K (水平方向3,840画素以上かつ垂直方向2,160画素)、8K (水平方向7,680画素以上かつ垂直方向4,320画素以上) の4種類で記載しています。

なお、トップランナー制度におけるFHD(フルHD)とは、水平方向の画素数が1,920以上かつ垂直方向の画素数が1,080以上のものをいい、4Kのテレビ及び、8KのテレビもFHDと同じ区分となっています。

● 定格消費電力(W)

電気用品安全法により決められた測定方法にて測定した電力です。

● 待機時消費電力(W)

リモコンで電源を切った状態の時に消費する電力です。

● DVD

DVDレコーダー内蔵のものをいいます。

● HDD

ハードディスクドライブ内蔵のものをいいます。

● ダブルデジタルチューナー

同一のデジタル放送受信チューナーが2つ以上あることをいいます。

● BD

ブルーレイディスクレコーダー内蔵のものをいいます。

● 年間消費電力量測定時の画質モード

液晶テレビでは、省エネ法により年間消費電力量を測定する際の画質モードを工場出荷時の状態(使用者が最初に電源を入れた時「標準状態モード」を選択できる機種については、標準状態(メーカー推奨状態))にて行うよう決められています。

